

令和5年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人計算科学振興財団	
設立年月日	平成20年1月22日	
団体の設立目的・沿革	スーパーコンピュータの活用による研究開発、スーパーコンピュータの産業利用及び普及啓発に関する事業を行うことにより、「富岳」を中核とする計算科学の研究教育拠点を形成するとともに、計算科学分野の振興と産業経済の発展に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	産業利用促進事業	自主事業、企画調整局医療産業都市部
	人材開発事業	自主事業、企画調整局医療産業都市部
	普及啓発事業	自主事業、企画調整局医療産業都市部
	研究支援・研究教育拠点形成推進事業	自主事業、企画調整局医療産業都市部
代表者	理事長 秋山 喜久	

役職員数 (令和6年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		9	9
神戸市派遣職員	1	1	-	-		2	4
神戸市OB職員	-	-	-	-	1		1
その他	1	18	-	2	11	-	32
合計	2	19	-	2	12	11	46

財務状況(単位:百万円)	令和5年度	令和4年度	差引
経常損益	84	56	28
当期正味財産増減額	70	43	27
流動資産	206	220	▲ 14
流動負債	178	190	▲ 12
長期借入金(固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	37	81	▲ 44

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	シミュレーション・クラスター発展への寄与
ミッション②	産業競争力強化への寄与

■ 短期的なミッション（令和 5 年度のミッション）

ミッション①	スパコンの産業利用の裾野拡大
ミッション②	市民への普及・啓発

■ 経営指標（令和 5 年度）

経営指標				令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員 1 名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	1.608	2.490	0.9ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	21.77%	21.88%	0.1ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	4.08%	6.47%	2.4ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	303.14%	342.15%	39.0ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	115.72%	115.59%	-0.1ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	24.95%	31.77%	6.8ポイント
持続性	自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	12.66%	16.89%	4.2ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	12.66%	16.89%	4.2ポイント

## ■ ミッション工程表

ミッション名		令和5年度				令和6年度				令和7年度～			
中長期的ミッション													
シミュレーション・ク ラ スター発展への寄与		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算科学・計算機科学のCOE(研究教育拠点)形成促進事業（最先端研究への助成）</li> <li>・ 一般向けスパコンセミナーなどスパコンを広く市民に知ってもらう機会を創出</li> </ul>											
産業競争力強化への寄与		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業界のスパコンの利活用の促進（技術高度化コンサルテーション、セミナー開催、展示会出展 など）</li> <li>・ シミュレーションやAI/機械学習等の講習会等の開催</li> </ul>											
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
スパコンの産業利用の裾 野拡大		FOCUSスパコン等の産業利用促進のための渉外活動 (企業訪問・オンライン会議・メール等による技術高度化コンサルテーション など)											
		講習会等の開催による人材開発・育成 (FOCUSスパコン利用講習会(毎月)、神戸シミュレーションスクール(9~1月) など)											
		セミナー等の開催、展示会等への出展、団体等の見学対応などによる普及啓発 (経営者・技術者向けスパコンセミナー(2月)、国際フロンティア産業メッセ(9月)、業界団体等の見学受入(随時) など)											
市民への普及・啓発		展示コーナーの更新、市民セミナー等の開催、神戸医療産業都市一般公開への参加、学校等の見学対応などによる普及啓発 (展示コーナーの展示物更新(随時)、一般向けスパコンセミナー(11月)、神戸医療産業都市一般公開(11月)、高校等の見学受入(随時) など)											

## ■ ミッションを踏まえた団体目標

目 標 及 び 実 現 方 法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	<p>スーパーコンピュータの産業利用の裾野拡大および人材育成に関する事業に取り組むことで、産業利用向けエントリースパコンとして財団が運用するFOCUSスパコンの年間利用法人数200法人の維持を目標とする。</p> <p>また、市民への普及啓発の取り組みとして、一般向けスパコンセミナーや学校等の見学による参加人数150人以上を目標とする。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普及セミナーの開催や展示会への出展、スパコン利用事例集の発行等による普及啓発</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業等訪問、産学コンソーシアム等への参画等による渉外活動</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FOCUSスパコンの運用、講習会の開催、技術相談対応等によるHPC(ハイパフォーマンスコンピューティング)スタートアップ・ステップアップ支援</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般向けスパコンセミナー、学校等の見学対応などによる市民への普及啓発</li> </ul>

## ■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（１）中長期的ミッションの達成状況

・ 計算科学・ 計算機科学の研究教育拠点（COE）形成促進事業を着実に進捗させた。
・ 神戸医療産業都市のシミュレーション・ クラスタ発展に寄与するよう、産業界向けセミナーや講習会を開催した。
・ 産業界のスパコン利活用の促進を行った。（技術高度化コンサルテーション、セミナー開催、展示会出展など）

（２）短期的ミッションの達成状況

・ FOCUSスパコン等の産業利用促進のための渉外活動を実施した。 （目標：年間利用企業数200法人 令和5年度243法人）
・ 講習会やセミナー等の開催による人材開発・ 人材育成を実施し、産業利用裾野拡大を図った。
・ 一般向けセミナー等の開催、分散コンピュータ博物館展示更新、団体等の見学受入などによる普及啓発活動を実施した。

（３）市政への貢献・ 市民への還元状況

・ 一般向けスパコンセミナー開催や神戸医療産業都市一般公開に参加
・ 分散コンピュータ博物館運営や見学会等の受入
・ スパコン利用成果事例集の配布、情報発信

■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

（１）総合的意見

スーパーコンピュータの産業利用の裾野拡大や人材育成等の事業に着実に取り組み「富岳」を中核とする計算科学の研究教育拠点を形成するとともに、年間利用法人数の目標値を達成するなど、計算科学分野の振興と産業経済の発展に寄与している。今後は市内企業のFOCUSスパコン利用率を上げる等、地元還元についての施策をより一層求めていきたい。
--

（２）数値目標の状況

評価項目	評価・ 指導
中長期的ミッション	着実に業務を遂行し、シミュレーションクラスタの発展や産業競争力の強化に貢献した。
短期的ミッション	産業利用促進、人材育成、普及啓発活動を通じ、スパコンのスパコン利用の裾野拡大に貢献した。
団体目標の達成状況	各種事業を通じ、目標と定めていたFOCUSスパコンの年間利用法人数200法人の維持を達成した。
市への貢献・ 市民への還元状況	セミナーや一般公開を通じ、市民への普及啓発活動を実施した。

（３）今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体
  継続的な見直しを要する団体
  取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体